

Ⅱ 全国学力・学習状況調査結果の概要

調査結果について、大野城市と福岡県、全国の平均正答率を比較する。

○ 正答率は問題数に対する正答数の割合を百分率で表した値

○ 全国比は、全国を100とした場合の大野城市の平均正答率

※ 「全体」の全国比算出方法は、「本市平均正答率÷全国平均正答率×100」とする。「全国比」欄の数値に「※」を付加して表記する。（例）107.0※

1 小学校（6年生）各教科の平均正答率（児童数 983人）

	国 語	算 数	理 科
大野城市	69.0	66.0	67.0
福岡県（公立）	66.0	63.0	63.0
全 国（公立）	65.6	63.2	63.3
全国比	105.2※	104.4※	105.8※
【前年度比】	【-4.7】	【-3.6】	
前年度全国比（%）	109.9※	108.0※	

2 中学校（3年生）各教科の平均正答率（生徒数 882人）

	国 語	数 学	理 科
大野城市	73.0	58.0	52.0
福岡県（公立）	69.0	50.0	49.0
全 国（公立）	69.0	51.4	49.3
全国比	105.8※	112.8※	105.5※
【前年度比】	【-2.0】	【+0.7】	
前年度全国比（%）	107.8※	112.1※	

3 概況

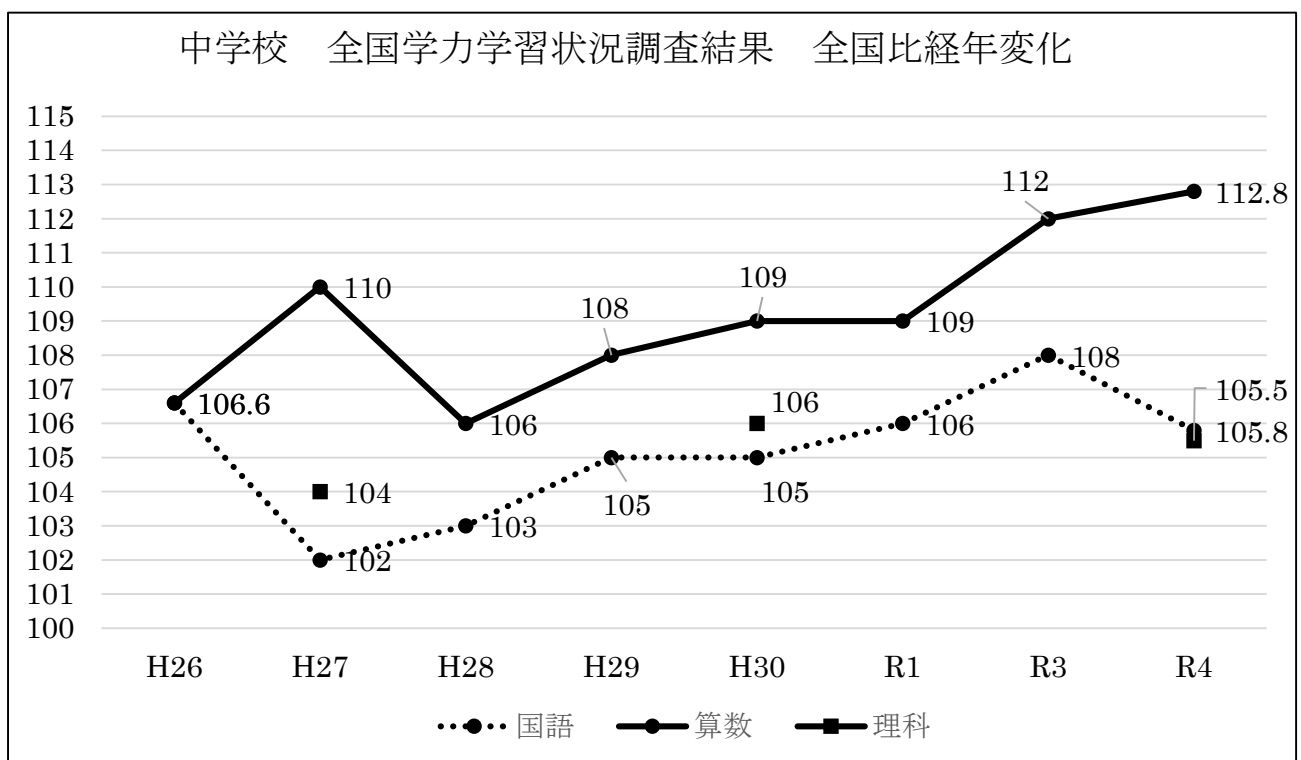
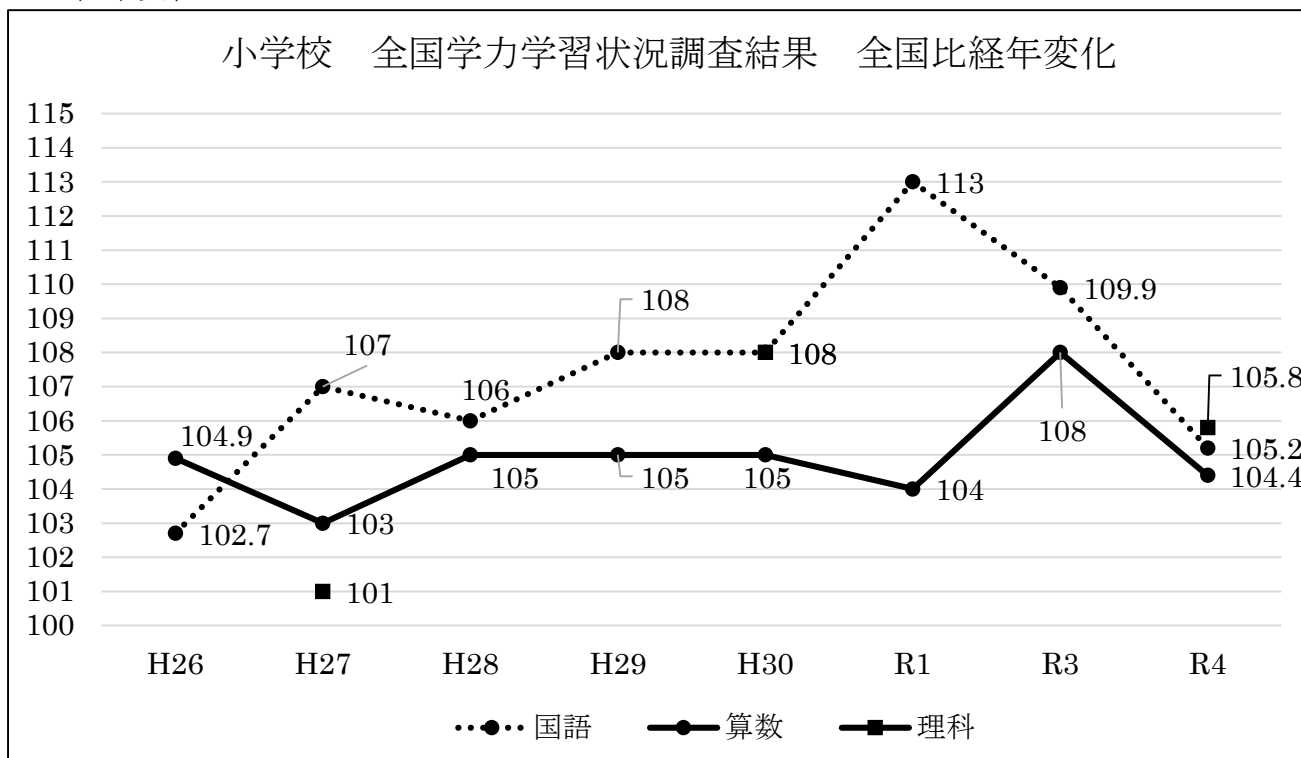
(1) 小・中学校ともに、いずれの教科区分においても全国平均を上回っている。

(2) 小学校では、国語は全国比 105.1 であった。令和3年度の本市全国比に比べ【-4.7】と大きく下回っている。算数も全国比 104.4 であった。令和3年度の本市全国比に比べ【-3.6】下回っている。理科は全国比 105.8 であった。

(3) 中学校では、国語は全国比 105.7 であった。令和3年度の本市全国比に比べ【-2.0】とやや下回っている。数学は全国比 112.8 であった。令和3年度の本市全国比に比べ【+0.7】とわずかに上回っている。理科は全国比 105.4 であった。

※ 全国及び福岡県との比較で見ると、小・中いずれも上回る結果となっており、本市の高い学力が維持されていることがわかる。しかし、小学校と中学校の国語は、全国を上回る結果は出ているものの、全国比では昨年度の結果を下回っている。

4 経年変化



※ 平成 31 年度（令和元年度）まで A 問題、B 問題であったため、B 問題との全国比を行い経年変化グラフ化している。